

**児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)**

公表:令和 4年 3月 1日

事業所名 児童療育教室らふいん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な物以外は教室内に置かないようにしています。</li> <li>運動時は机を定位置に置くように片付けをし広さを確保して行っています。</li> </ul>	
	2	職員の配置数は適切である	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な物以外は教室内に置かないようにしています。</li> <li>運動時は机を定位置に置くように片付けをし広さを確保して行っています。</li> </ul>	個別対応が必要な児童が複数名いた場合には配置的に難しいところがあり、職員人数が増える事できめ細かな支援ができるのではないかと考えます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>教室の中には必要な物以外置かないように、空間を広く取っています。</li> <li>見通しを持たせるために視覚的情報で分かりやすく時間割やイラストで何時にトレーニングが始まり何時に終わるのかを表示しています。</li> </ul>	事業所は2階にあり、エレベーターでの昇降可能。トイレは通常使用となっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>休み時間に遊んだおもちゃ等はそれぞれ片づける場所を指定し片付けをしやすい工夫しています。</li> <li>必要な物品のみを置いています。</li> <li>1人1人に机の配置をし、集中しやすい空間を作っています。</li> </ul>	
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員で話し合いを行い改善すべきところがあれば見直しを行っています。</li> </ul>	休みの職員に対し、時々伝達が上手くいっていない時があり、申し送り簿などの伝達手段を活用していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			発達支援に関しては、土曜日のみの受け入れとなっています。平日利用希望のご意見も頂いているのですが、トレーニングの内容の関係で放課後等デイサービスと一緒に行うことが難しい現状です。意向に沿えるよう話し合いを継続して行っていきたいと思います。
業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページにて公開しています。</li> </ul>	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		・第三者からの評価は行っていません。 評価を参考にし、業務改善をしていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・コロナ禍ということもあり、ほとんどの研修がオンラインでの研修になっていますが積極的に参加しています。	・外部で受けた研修を他の職員に研修内容を提供し学ぶ機会を作り、全職員の質の向上に繋げていきたいと思います。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・日々の支援日誌等を振り返りながら、職員間で分析し、計画書の作成、見直しを行っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			定期的に検査用紙を用いて状況を図っていく予定です。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・支援計画書を元に、個別支援計画書を作成し、必要な支援ができ、具体的な支援内容で支援ができるように職員間で話し合い設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・計画書に沿って支援し、支援日誌に記録して振り返りを行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・職員での話し合いでプログラムを立てています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・毎月プログラムの内容を変えながら変化を与え、トレーニングを行っています。 ・運動では色々な体験ができるようにしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5		・状況に応じて、個別支援が必要な際は個別活動を行っています。 ・今がどんな支援が必要かを見極めて作成をしています。	細かく評価できるように、業務の見直しを行っていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関等	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・当日利用児童の状況を振り返り、支援方法の確認をし、役割を決めています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		・支援の仕方は適切であったのか、確認し合いながら支援日誌に記録し、共有しています。 ・その子の支援に関して、記録したことを次に繋げるようになります。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・児童の日々の状況状態を振り返り、支援日誌へ記録し、支援の改善に努めています。 ・その子の支援に関して、しっかり記録し次に繋げています。	その日に分からなかった本人の気持ちが、後々に分かった時なども詳しく記録し、表に出せていない気持ちを汲み取れるような支援ができるようにしていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・支援日誌をもとに、モニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っています。	個別支援計画書の作成が遅れてしまう事がある為、業務の見直しを行っていきます。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・児童発達支援管理責任者が参画しています。 ・ふさわしい職員が参加し、その後、職員間で情報共有をしています。	
関係機関等	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・連携を取りより良い支援を行うよう心掛けています。	十分な連携が取れてるとは言えず改善方法を検討していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	3	・アセスメントにて事前に把握できるようにしています。	対応方法のフローズを作成しています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	3	・アセスメントにて事前に把握できるようにしています。	現在、保護者対応での児童のみであるため連携は十分ではないですが、緊急性がある場合の対応方法をフローズで作成しています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	モニタリングの際に情報共有を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者との連携関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	・小学校や特別支援学校との連携は直接取れていませんが、相談員さんからの情報を提供してもらっています。	・こんな禍で難しいところはあります、オンラインなどを使って就学前に関係機関が集まって情報共有が出来ればと考えています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	・研修には参加し、その後は職員での情報共有をしているます。	・研修などの情報収集を行い今後も、積極的に参加をしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4		・コロナ禍の為、自粛中です。今後、どのように交流ができるのか検討していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		・体調面から職員の欠勤がでてしまい、コロナ禍ということもあり参加ができていません。予防対策などをしっかり行き参加できるようにしていきたいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・送迎時に申し送りをしたり、児童の前では配慮したいことは、ラインなどを使い伝えています。 ・保護者との申し送りでは、1日の様子をわかりやすく伝えるようにしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		5		・助言を行うことはあるが、具体的な支援が行えていません。 今後、どのように支援ができるのかを検討し実践していきたいと思います。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・疑問などあれば、その都度説明できることを伝えています。 ・契約時の時などに書類を見せながら説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		・作成した計画書に同意を得てサインをもらい、行っています。 ・支援内容の説明を行いサインをいただく形で同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・定期的ではないですが、その都度行っています。 ・相談などあれば適切な助言ができるよう他職員の意見も聞きながら行っています。	・事業所側からもアプローチし、気軽に相談できるようにしていきたいと思います。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		・コロナ禍ということで、保護者会の開催が難しい状況です。 今後の支援として、どのように開催できるのかを検討していきたいと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談や要望など迅速に対応できるよう、体制を整えています。</li> <li>・相談などあれば、しっかりと対応し、意見を聞き適切に対応できるよう心掛けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に相談できるような雰囲気づくりも心掛けています。</li> </ul>
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを開設しています。</li> </ul>	定期的にホームページで発信していきたいと思います。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報は施錠できる書庫へ保管しています。</li> </ul>	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況や状態を見ながら個別で対応するなど配慮を行っています。</li> <li>・子供や保護者に応じてそれぞれ対応を行っています。</li> </ul>	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の為自粛中です。</li> </ul>
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい感染症を加えて、マニュアルを作成しています。</li> </ul>	保護者への周知という点においては、まだ出来ていない部分があるので改善していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練・防災訓練の実施を年2回予定しています。訓練の様子はホームページで公開していきます。</li> </ul>
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメントにて確認をしています。</li> </ul>	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師からの指示書はないが、事前に保護者よりアレルギーの有無を聞いています。</li> <li>・アセスメントにて確認を行い、全職員で周知しています。</li> </ul>	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援終了後の振り返り、支援日誌への記入を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例集を作成し共有していきます。</li> </ul>
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでの研修が主になりましたが研修に参加しています。</li> </ul>	全職員が研修を受けられるようにしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当者はないですが、必要な場合は説明をしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束が必要な利用児童はいません。</li> </ul>

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。